

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(アサリ) KD-01-84号

令和2年3月11日発行

プランクトン及び貝毒検査を3月9日～11日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・貝毒検査(3/11)の結果、播磨灘(赤穂・相生・たつの・姫路・播磨町)で採取したアサリから規制値を上回る麻痺性貝毒は検出されませんでした。

・貝毒原因プランクトンの発生はわずかでした。

・貝毒原因プランクトンの増殖等により、下表の検査地点以外において、アサリ等天然(自生)の二枚貝の毒化が進行している恐れがあります。健康被害の未然防止のため、**管理された潮干狩り場等以外での天然二枚貝の採取は控えてください。**

【検査結果】

年月日(採水・採取)	R2.3.9	R2.3.9	R2.3.9	R2.3.9	R2.3.9	
海 域	播磨灘西部				播磨灘東部	
地 点(St.)	赤穂	相生	たつの	姫路	播磨町	
貝の種類	アサリ	アサリ	アサリ	アサリ	アサリ	
貝の毒化状況 [マウスユニット/g]	麻痺性貝毒	ND	ND	ND	ND	
麻痺性貝毒 原因プランク トン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/mL)	0~0.02	0~0.14	0.02~0.10	0~0.04	0.04
下痢性貝 毒原因プラ ンクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/mL)	0	0	0	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/mL)	0.02	0.02~0.20	0	0~0.02	0

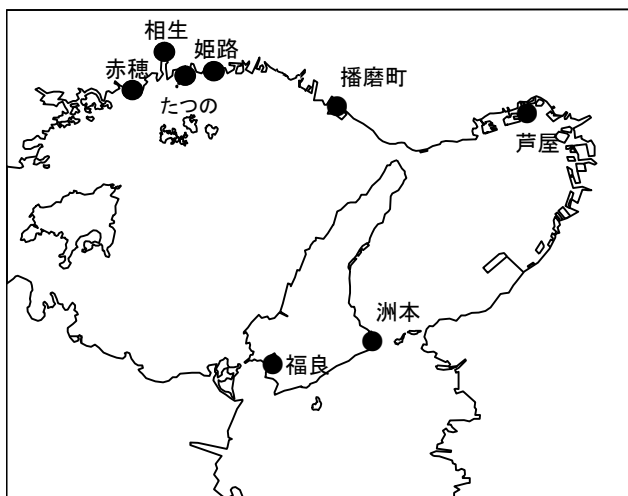


※NDとは、検出限界値(2.0MU/g)未満のことです。 ※海水調査は、貝毒情報KD-01-82号の一部再掲です。

※下痢性貝毒の検査は、兵庫県及び近隣府県の貝毒及びプランクトンの発生状況を考慮し必要に応じて適宜実施します。

※調査地点のうち、「芦屋」では、護岸改修工事のため、検査試料が調達できない状況です。

※調査地点のうち、「洲本」と「福良」では、天然(自生)のアサリ資源量が少なく、検査試料が調達できない状況です。



<規制の基準>

可食部の毒量が

麻痺性貝毒:4マウスユニット/g

下痢性貝毒:0.16mg オカダ酸当量/kg }を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ
Alexandrium tamarense 5 個数/mL 以上

アレキサンドリウム カテネラ
Alexandrium catenella 50 個数/mL 以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50 個数/mL 以上

【今後の情報予定】

§ お問い合わせ先 §

・貝毒による規制等に関すること：兵庫県農政環境部農林水産局水産課資源増殖室(担当：漁場整備班)

Tel:078-341-7711(内4163、4164)

・貝毒調査に関すること：兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当：水産環境部 中桐・宮原)

Tel:078-941-8602

Fax:078-941-8604

Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>